

若者の望みがスマートに叶うまち ～データサイエンスを利用したニーズ分析～

宇都宮共和大学シティライフ学部2年高丸ゼミ
◎三木淳暉、小野寺優太、羽毛田楓元、宮前穂奈美、塩沢樹音、田嶋大暉、鷲頭詩音、大根田葵、桑沢領真

提案①

サイレントな市民の
ニーズに積極的に対応
するまちうつのみや

具体的な意見を言わない市民の
ニーズを市が積極的に汲み取る

宇都宮で暮らすと…
いつも通り行動して、
いつも通りSNSを使っているだけで
自分たちのニーズに沿った施策を
行政が行ってくれる

提案②

データサイエンスを施策に応用
するスマートな未来都市うつの
みや

■予備実験：実際の宇都宮の若者のツイートを分析

友達出来るか不安
バス初めてで迷った
明日友達出来ますように
わざわざ帰省して選挙行った
雷で停電してどうすれば？
邦ロックが好きです
バスに無視された

※実際の「市民のツイート」に基づいて作成

SNSには施策の種になる投稿がたくさんありそう

- 友達作りの施策
- 公共交通を分かりやすくする施策
- 選挙、住民票移動などの案内
- 雷や停電への対策
- 大規模ロックフェスの誘致/後援

ビッグデータ活用のための
市としてデータマイニング
やテキストマイニング技術
の高度な利活用を目指す。

提案③

インターネット投票・インター
ネット選挙に取り組むスマート
シティうつのみや

- データサイエンスに基づく施策案を、インターネット住民投票で絞り込む。
- 予算枠を用意して、毎年いくつかずつ実施する。

投票により参加する市民の意見も反映できる

従来の広聴活動に
応じて積極的に市政へ
の意見をいう人たち

参加する市民

サイレントな市民

市政への参加意欲のピラミッド

積極的に意見を言う人

調査に協力する人

無関心な人

現在の広聴活動

宮だより・パブリックコメント

アンケート・世論調査

データサイエンスによる
ニーズ分析

本提案

手順1:

サイレントな市民の意思を反映し得るビッグデータの収集

SNSへの投稿

行動履歴データ

その他のビッグデータ

データマイニング・テキストマイニングで特徴や傾向を抽出

手順2:

市民のニーズ(=施策のシーズ)を抽出

施策
A

施策
B

施策
C

施策
D

施策
E

実行可能な施策(案)

手順3:

インターネット住民投票

サイレントな市民にも参加する市民にも
うれしい住民本位の施策

つくば市でのインターネット投票の実証実験

メリット

- ・スマホで簡単に投票できる
- ・投票は1~2分

実証実験

- ・公募案件の採択
- ・高校の生徒会選挙

システム

- ・本人確認、改ざん防止
- ・秘密投票の保障

つくば市は2024年の市長選・市議選での導入を目指している